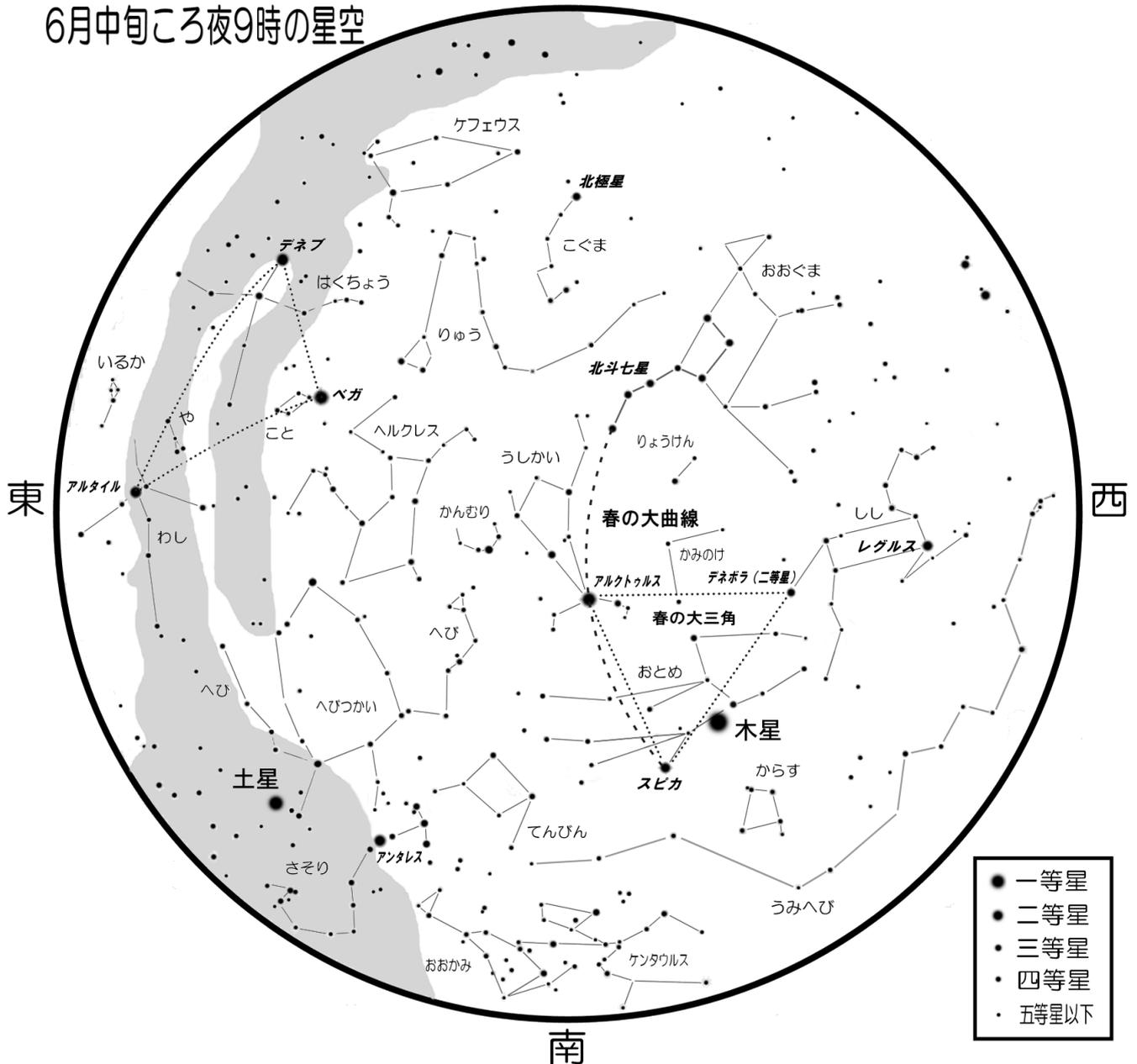


阿南市科学センター 6月の星空案内

北

6月中旬ころ夜9時の星空



6月と言えば、毎年梅雨の時期にあたることから、1年で一番星の観察が難しい時期となります。しかしながら、雨が降った後などには空気中の汚れが洗い流されることによって、思いのほか空の透明度が良くなり、星がよく見えることもありますので、この時期は雨上がりの晴れ間を狙ってみたいものです。

さて、今月は先月から引き続き木星が観測の好機となっており、加えて東の空では環を持つ惑星、土星も見ることができるようになりました。木星の縞模様や、土星の環は小口径の望遠鏡でも簡単にその存在がわかりますので、天体望遠鏡をお持ちの方は、上の図を参考にぜひ、太陽系1, 2の大きさを誇るこれらの惑星をご覧になってみて下さい。

天体観望会のご予約、お問い合わせは

阿南市科学センター 徳島県阿南市那賀川町上福井南川洲 8-1 電話 0884-42-1600

6月の月と惑星

月の満ち欠け

月の形	☾上弦の月	☽満月	☾下弦の月	●新月
見える日	1日	9日	17日	24日

惑星

水星 	金星 	火星 	木星 	土星 
上旬ごろ日の出前、東の超低空に見える。(-0.6等) 以降は太陽に近く観察が難しい	明け方東の空に見える (-4.3 → -4.2等)	太陽に近く観察は難しい	夜9時ごろ、南～南西の空に見える (-2.2 → -2.1等)	夜9時ごろ、東の空に見える (0.0等)

天文館夜間天体観望会 6月の見もの天体

りゅう座のキャッツアイ星雲(NGC6543)

この時期、北斗七星の東側に、「りゅう座」という星座が昇ってきています。この星座は、明るい星がほとんどなく、目立たない星座ですが、毎年1月4日の早朝に見られる「りゅう座流星群」のおかげで知名度はそれなりにある星座でもあります。

さて、このりゅう座には大きさは小さいものの、小口径でも確認することができる惑星状星雲「NGC6543」があります。別名、「キャッツアイ星雲」と呼ばれ、ハッブル宇宙望遠鏡が1999年に撮影してその名前は、一躍有名になりました。

前述のように、小口径でも100倍程度で、あきらかに星ではなく、星のピントをぼかしたような姿で見え、空の条件が良いときには、少し青っぽくなっているのもわかります。また、天文館の大型望遠鏡を使えば、中心の星がキラキラ光っているのがわかり、まさに「キャッツアイ(猫の目)」のような姿に見えます。ぜひ、天文館の夜間の観望会に参加して、宇宙に浮かぶ「猫の目」を体験してみてください。



今月の天文現象

明るくなるジョンソン彗星(C/2015 V2)

6月から7月にかけて、うしかい座～おとめ座のあたりで、ジョンソン彗星(C/2015V2)が見やすくなります。彗星という天体は、よく汚れた雪だるまに例えられる小さな天体ですが、太陽に近づくとその熱によって彗星表面が溶かされ、結果、彗星全体が薄いガスで覆われる

ようになり、ます。そのような理由から、

天体望遠鏡で彗星を観測すると、全体的にぼんやりと、まるで星雲のような姿で見えるようになります。

毎年、数多くの彗星が発見されていますが、その多くは、暗いものばかりで、なかなか小口径の望遠鏡に手におえる明るさまでにはなりません。そんな中、このジョンソン彗星は、6月上旬に6.7等級まで明るくなると予想されており、小さな望遠鏡でも十分にその存在を確認することができます。

また、予想では6月上旬をピークに少しずつ暗くなっていきますが、7月下旬で7.8等級ですから、これくらいの明るさなら、小さな望遠鏡でも観察可能です。



5月18日に撮影したジョンソン彗星



天体観望会のご予約、お問い合わせは

阿南市科学センター 徳島県阿南市那賀川町上福井南川洲 8-1 電話 0884-42-1600